



『3.11働哭の記録 71人が体感した大津波・原発・巨大地震』

金菱 清
東北学院大学 震災の記録プロジェクト編
(2800円+税/新曜社)

本書は、東日本大震災の被災者自らが綴った手記を編んだものである。集めたのは東北学院大学で社会学を教える金菱清准教授と学生たちのプロジェクト。実は当初、71人もの見ず知らずの人の言葉が詰まっているのかと思うと、その重たさになかなか扉を開くことができなかった。でもひとたび読み始めれば、感じるのは重さでなく人間の体温。訥々と話す人、饒舌な人、語り口はさまざまなれど、おにぎり1個のリアリティーと割り切れない感情の翳がひしひしと伝わってくる。読み終えた時には、彼ら一人ひとりが語るのを隣で聞いていたような気持ちになった。

金菱准教授らは本書の出版後、手記を寄せた人々の元を再び訪ね歩いている。時が経つほど、価値を増す一冊だと思ふ。

(雅)